

神の国の教え①

一 神の国と財産

ルカの福音書12章13-21節

2012,10,14 HKJCF

I 概観

序) 福音=神の国の教え

- | | |
|---------------|-------|
| 1、イエス様への求めと警告 | 13-15 |
| 2、愚かな金持ちの譬え | 16-20 |
| 3、神の前に富む者 | 21 |
| 4、適用 | |

II イエス様への求めと警告

- 1、イエス様への求め：相続問題
 - 2、主の奉仕の本質：真の問題解決
 - 3、貪欲への警戒：現象から本質へ
- ⇒相続問題：情と欲が最大問題
⇒情と欲への勝利は神の国(霊)の法則で
肉体(本能)の法則<心理(欲求段階説)
の法則<霊(自己実現を超えて)の法則

III 愚かな金持ちの譬え

- 1、大豊作と倉庫の拡張計画
 - 2、安楽な暮らしの予想
 - 3、突然の死
- ⇒貪欲と鈍感
⇒魂への無関心：地上限定の生き方

IV 神の前に富む者

- 1、魂が最重要
- 2、永遠(神の国)が最重要
- 3、神の前に富む者(真の豊かさ：自由・ゆとり) ⇒祝福の器となる：IIコリント6:10
(神様の救いの恵みを受け、順境も逆境も神様に信頼し、繋がり、心豊かに生きる。
→無一物中無尽蔵)

V 適用

- 1、永遠の前に人生は一瞬：詩90:3-6
- 2、神の国を中心とした生活：コロサイ3:1
- 3、今、神の子として生きる：Iヨハネ3:2
⇒富は偶像のように人をとらえ、奴隷化する。神の子は情と欲から解放され、神の国の永遠の愛の原理で生きる。そのスタートは父なる神様への信頼と主の十字架の業。
⇒経済生活の信頼・確信・自由を祈ろう